

みんなであつづる 牡鹿半島の豊かな暮らし

いんふお鹿おしか 11 2017



牡鹿地区 小学校の 学芸会・フェスティバル

みんなで協力すれば大きな魚も怖くないよ！



10月14日は鮎川小学校・大原小学校、10月22日には寄磯小学校にて、学芸会がありました。

それぞれの児童がこの日のため、一生懸命練習に励んできました。指導した先生や協力を惜しまない保護者や地域の方たちに見守られ、練習の成果を存分に発揮し、会場が一体となって楽しめる学芸会となりました。

鮎川小学校

「35億%の笑顔
届けよう！
最高の学芸会」

合唱「歌声を響かせて」

どうだ！ こわいでしょ！



大原小学校

「拍手かっさい
笑顔をとどけ
楽しもう学芸会」

合唱「響け！うたごえ！
ハーモニー！」

ありがとうはステキなことば



寄磯小学校

「さきほこれ10人のひかり
輝く笑顔の花」

劇「ほんとうの
宝ものは」



牡鹿中学校 文化祭

10月21日には牡鹿中学校の文化祭がありました。国語弁論では、「未来への道のり」やSNSの使い方について主張した「言葉一つで」、英語暗唱「泣いた赤鬼」、英語弁論「牡鹿の未来」、おにぎり大使の参加体験報告など、生徒それぞれが一生懸命に発表しました。生徒の成長した姿に、保護者をはじめ観客は、元気をもった文化祭でした。

絵画や写真、新聞などが展示され、日頃の学習成果がよくわかる素晴らしい内容でした。



みんなで呼吸を合わせて

本祭の神輿は、観光棧橋からぐるりと浜を練り歩きました。漁業の研修生として滞在しているインドネシアの人たちも神輿の担ぎ手として加勢しました。直会や昼の食事作りは多くのお母さんたちが協力して、みんなで地域のお祭りを盛りたてました。

昨日12年ぶりに再開された熊野神社の祭りが、行政区長さんをはじめ地域の方々の協力により、10月15日、にぎやかに開催されました。前日14日の夜祭りでは、おでんやたこ焼きが参拝者に振舞われました。神事後にはカラオケ大会があり、驚くほど上手な人ばかりで、黄色い声援が飛び交いました。

鮎川浜 熊野神社祭り

文化財レスキューで鮎川を元気に!!

牡鹿のみなさん、はじめまして！東北学院大学の佐藤麻南（さととうあさみ）と申します。今回、いんふお・おしかの誌面をお借りして活動紹介をさせていただくことになりました。

私たちは、東日本大震災後に鮎川公民館の隣にあった収蔵庫に保管されていた民具、町誌編さん資料を救出し、保全する文化財レスキューの活動を行ってきました。2012年からは毎年夏にそれらの民具を展示し、地域のみなさんにもってもらう活動も行ってきました。



2014年冬、「牡鹿半島の暮らし」展



石巻市鮎川収蔵庫での文化財レスキュー

2016年からは石巻市復興まちづくり情報交流館で展示を行っています。

展示の回数を重ねるごとにたくさんの方に見に来ていただき、民具を見ながら昔の道具の使い方や、思い出のエピソードなど文献資料からは読み取れない個人の暮らしのお話をたくさん聞かせていただくことができました。民具を見て「なつかしい」とか「昔はこうだったのよ」と楽しそうに、時には涙ぐみながらお話をしてくだ



2014年夏、「牡鹿半島・海の暮らしの風景」展

さる方もおり、私たち学生にとっても貴重な経験となりました。

そんな中、2014年には、地域の方から昭和初期～中期の鮎川の風景や初期の頃の鯨まつりの写真をたくさん提供いただき、これらの写真の展示も行いました。

また、ここでは民具とはまた違った昔の暮らしのお話を聞き、牡鹿で暮らしてきた人々が昔から大事にしてきた文化や暮らしに触れることができました。

2016年は、情報交流館でロイ・チャップマン・アンドリュースが撮影した100年前の鮎川の風景の写真展を開催し、近代捕鯨

とともに発展してきた鮎川の歴史や街並み、捕鯨産業とともに営み続けてきた人々の暮らしについて理解を深めることができました。

2017年の夏に行われた【描かれた神体島 日本画家・平山郁夫が描いた「金華山の朝陽」】の展示に引き続き、11月中旬から情報交流館で「昔のくらしと民具」展を開催します。ぜひ、展示を見に来て、みなさんの昔の暮らしや思い出のエピソードをお聞かせください！



2017年夏、「描かれた神体島」展

原稿寄稿 東北学院大学
牡鹿半島思い出広場実行委員会
佐藤 麻南

寄磯の魅力伝えたい！

第23回河北新報社新聞記事コンクールにおいて、寄磯小学校の5・6年生4名全員が入賞しました。

今年7月の海洋体験で、ホヤの水揚げ見学やホヤ剥きに挑戦した児童たち。その経験から感じた漁師の仕事の大変さや誇らしさ、自分たちが住む浜の魅力、自分たちの言葉でしっかりと書かれた作文でした。みなさん、おめでとうございます！



7月の海洋体験の様子

リボンアート・フェスティバル 2017を終えて

RAF
情報

この夏、51日間（7/22～9/10）にわたって開かれた「リボンアート・フェスティバル 2017」が閉幕しました。会期中は、牡鹿半島や石巻市街地へ延べ26万人（事務局発表）の来場がありました。

閉幕とともに、ほとんどの作品は撤去されましたが、今後も継続して運営される施設をご紹介します。



もものうらビレッジ

桃浦にある会員制の宿泊・研修施設です。宿泊やキャンプのほか、様々な体験プログラムがあります。

電話 0225-25-6870

「はまさいさい」

牡鹿ビレッジ（荻浜）にある浜のお母さんたちによる食堂です。県道沿いの多目的トイレも残り、どなたでも利用できます。

電話 0225-98-7663



2019年には、第2回リボンアート・フェスティバルが予定され、それに向けたイベントが来年2018年に企画されるそうです。

編集
後記

10月半ばに各小学校で行われた学芸会。全ての演目がみんなとても上手ですばらしく、写真の選定がなかなか決まらなかった。出来るならたくさん載せたかったです。

9/30(土)

くじらっこあつまれ！

鼓笛隊の演奏で始まった牡鹿地区保育所の運動会。今年のテーマは「みんなあつまれ～！くじらっこまつり」でした。水色の波にピンクのクジラが載った手作りのお神輿を担いで入場し、かけっこや大好きなお家の人たちと一緒に、競技を楽しみました。



10/1(日)

臨場感あふれる鹿の角切り行事

金華山の鹿角切場で行われた角切り行事は、多くの人が見物に集まりました。場内で飛び交う勢子のやり取りが観客席まで聞こえるため、臨場感あふれる雰囲気味わえるエキサイティングな行事です。



10/16(月)

7年ぶりの稲刈り

谷川浜地区で、関係者が見守る中、7年ぶりの稲刈りが行なわれました。今年5月、被災水田が復旧・再開し、震災後に発足した牡鹿地区生産組合のメンバーにより、ひとめぼれを4.5ha作付けしました。この日は早朝、漁業に従事した後の稲刈り作業でしたが、今後も土の状況を見ながら、収量を増やしていきたいと話していました。



お知らせ

第4回 はまっこ市

日時：11月25日(土) 10時～13時

場所：おしか番屋

主催：鮎川港まちづくり協議会

☎ 986-2523 石巻市鮎川浜寺前 18-2 tel:0225-98-8491

「ごさい～ん！牡鹿へおいでよ！」 <http://info-oshika.jp/index.html>

編集・発行：石巻市牡鹿地区復興応援隊 いふお・おしか発行室

発行部数：2,000部

facebook
やってます

